

大分大学理工学部 入学者受け入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

基本理念

質の高い特色ある研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育目標

自ら課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成します。特に、創生工学科では、「工学の専門性を究めつつ理学の素養を併せ持つ人材」を、共創理工学科では、「理学の専門性を究めつつ工学の素養を併せ持つ人材」をそれぞれ養成します。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら、自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、理学及び工学分野の先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち、将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には次のような人を求めています。

1. 理学及び工学の基礎をなす数学や理科等の基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
2. 理学及び工学分野の新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
3. 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
4. 技術者、研究者、教育者として、社会でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

【創生工学科】

安心かつ持続可能な社会実現のために、付加価値の高いものづくり技術の創出に意欲のある人

<機械コース>

ものづくりに興味があり、そのために必要な機械工学に関する専門知識を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

<電気電子コース>

現代社会を支える電気電子工学分野に関心があり、この分野を主体的に学んで社会で活躍したいと考えている人

<福祉メカトロニクスコース>

メカトロニクスシステム（機械／電気系）と生体系、及びそれらの複合系に関する専門知識を身につけ福祉社会の発展に貢献したいという意志をもっている人

<建築学コース>

自然科学や工学のみならず社会科学、環境科学並びに芸術の分野に関心があり、安全・安心かつ持続可能な社会実現のために、高度化・多様化・国際化している建築技術の修得や魅力ある環境・空間の創生に意欲のある人

【共創理工学科】

数理・自然科学への興味とその技術的応用に取り組む意欲のある人

<数理科学コース>

数学に興味があり、科学技術を発展させるための様々な課題に対して、数学の立場からその解決方法

を見出し、それに取り組む過程に魅力を感じる人

<知能情報システムコース>

情報科学の基礎から知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組み、高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、学んだことを生かして解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人

<自然科学コース>

自然科学に関連する分野で地域社会や国際社会に貢献したいという意志をもっている人

<応用化学コース>

科学、工学の分野に関心があり、特に化学に関する幅広い専門知識・技術を身につけ社会に貢献したいという意志をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験生の学力や資質を見るため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか、推薦入試（一般推薦、サイエンス推薦）、アドミッション・オフィス（AO）入試、特別入試（帰国子女入試、私費外国人留学生入試）などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）及び個別学力検査（数学・理科）により選抜します。大学入試センター試験では、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を判断します。個別学力検査では、問題を解決するために適切な知識や技能を選択し、活用する能力、自らの考えを適切に表現する能力を判断します。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）及び個別学力検査（面接）により選抜します。大学入試センター試験では、日常の学習の到達度、幅広い基礎学力の定着度、知識の（暗記だけではない）活用力を判断します。個別学力検査は、個人面接又は集団面接で行い、志望学科コースやそれに関わる分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力を見ます。また、数学と理科に関する学力及び科学的思考能力を見る試問を含むことがあります。

・推薦入試（一般推薦）

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、基礎能力試験及び面接により総合的に評価し、選抜します。志望理由書は参考資料として用います。基礎能力試験では、基礎学力を含む論理的思考力、課題解決能力を見ます。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問も含み、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを見ます。

・推薦入試（サイエンス推薦）

高等学校等において、科学に関する特別活動（例：SSH プログラム、科学クラブ等）に取り組んだ経験のある者を対象として、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、科学に関する特別活動の実績を示す資料、調査書、推薦書、志望理由書、プレゼンテーション及び面接により総合的に評価し、選抜します。プレゼンテーションでは、科学に関する特別活動の内容に関する発表と質疑応答を行います。面接は個人面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを見ます。

・アドミッション・オフィス（AO）入試

創生工学科全コース、共創理工学科知能情報システムコース及び応用化学コースにおいて、高等学校等の機械、電気、電子、情報、計算機、化学、建築、土木に関する学科・課程又は総合学科を卒業見込みの者を対象として、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書、自己推薦書、活動報告書及び面接により総合的に評価し、選抜します。面接は集団面接で行い、基礎学力に関する試問を含めて、科学的思考力、専門分野への関心・意欲・理解、積極性、自己表現力などを見ます。なお、創生工学科建築学コースと共創理工学科知能情報システムコースでは、高等学校等で学習する内容に関する学力及び科学的思考能力を判定する基礎的な筆記試験を、共創理工学科応用化学コース

では小論文を課します。

・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また，理解力・論理的思考力・表現力を見るために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接により総合的に評価し，選抜します。面接では，日本語能力，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また，理解力・論理的思考力・表現力を見るために基礎学力に関する試問を含むことがあります。

・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るとともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

各選抜試験で重視する観点

入試区分			学力の3要素			求める資質・能力		
			主体性・ 協働力	思考力・ 判断力・ 表現力	知識・ 技能	着想力， 探究力， 行動力を 有する	意欲・関 心・積極 性・持続 性を有す る	他者と協 同して理 解を深め る力を有 する
			AP1, AP3 に関連	AP1, AP3 に関連	AP1 に 関連	AP2 に 関連	AP4 に 関連	AP3 に 関連
一般入試	前期日程	大学入試センター試験		○	○			
		個別学力検査（教科の試験）		◎	○	○		
	後期日程	大学入試センター試験		○	◎			
		個別学力検査（面接）		○	○	○	◎	○
推薦入試	一般推薦	基礎能力試験		○	○			
		面接（口頭試問を含む）		○	○	○	○	○
		推薦書	○	○			○	
		調査書	○		○			
	サイエンス推薦	プレゼンテーション		◎		○		
		面接（口頭試問を含む）		○	○	○	○	○
		志望理由書		○			○	
		推薦書	○	○			○	
		調査書	○		○			
AO入試		面接（口頭試問を含む）		○	○	○	◎	○
		自己推薦書		○			○	
		活動報告書	○			○	◎	
		調査書	○		○			

◎ 特に重視する

高等学校等の段階で習得すべき知識・能力

理工学部の教育においては、高等学校において学習する以下の教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため、理解のレベルは個人によってそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については、入学までに身につけるよう期待します。

国語

他者の考え・気持ちを理解するとともに、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。習得しておくべき科目は、国語総合、国語表現、現代文、古典です。

地理歴史、公民

地理歴史、公民の各科目の学習を通じて、基礎的な知識を習得するとともに、地理・歴史及び現代社会に対する客観的な見方・考え方を身につけるとともに、政治・経済・社会の動きに対して常に興味や関心を持つことが必要です。

数学

数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bについて、基礎的な計算技能を習得するとともに、基本的な定理を理解して活用できることが必要です。また、数学的な見方・考え方を身につけ、物事を数学的に判断・処理することに習熟していることが必要です。

理科

物理、化学、生物に関する基礎的な概念を理解するとともに、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方・考え方を身につけていることが必要です。習得しておくべき科目は、物理基礎及び物理、化学基礎及び化学、生物基礎及び生物、から2科目以上です。

外国語（英語）

外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれ、国際社会に生きる人間としての精神と外国語（英語）の力を持つことが必要です。習得しておくべき科目は、コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱです。